2015．3.16　No.2152 No.29

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

会長挨拶

三条南ロータリークラブ会長

佐々木常行

本日はゲストスピーカーに新潟日報社 論説編集委員室 次長　森沢真理様をお迎えしております。森沢様、よろしくお願い申し上げます。

今日は、コンビニの話をさせていただきたいと思います。

現在、国内のコンビニの店舗数は５万店を超え、顧客の奪い合いが激しさを増しています。昨年２月期のデーターによる売上ベースでの業界１位は３兆 7,812 億のセブン‐イレブン・ジャパン、続いて１兆 9,453 億のローソン、そして、１兆 8,627 億のファミリーマート、9,506 億のサークルKサンクスと続きます。現在、セブンイレブンは独自開発した PB 食品などが消費者の支持を得、既存店の売上高が伸びています。一方、ローソン以下のコンビニの既存店売上はマイナス基調となっているのが現状です。このままではセブンイレブンの独走態勢がますます鮮明になるため、業界３位と４位のファミリーマートとサークルＫサンクスが近く経営統合する予定です。もし両社が統合すれば、売上高では第２位のローソンを抜き、店舗数ではあのセブンイレブンを上回ることになります。

ここで少し面白い話があります。ローソンとファミリーマートは全国 47 都道府県に出店していますが、これだけ交通網が発達した時代にセブンイレブンがない県があるのです。長い間、四国４県はセブンイレブンのない地域でありました。しかし、2013 年に香川県と徳島県に出店、そして、2014 年に愛媛県に出店、残る高知県も今月の６日に出店しました。未だに出店のない県は、あと残すところ青森県と鳥取県と沖縄の３県のみとなりました。なお、青森県は今年の夏に出店予定のようです。

今週の俳句

寒風や　葱のみどりに　元気づく　（諷子）

冬の雨　子らを見守る　ボランティア　（宅秀）

出　席　率	会員52名中38名
先々週の出席率	92.00%（3/2）
ゲ　ス　ト	新潟日報社 論説編集委員室　次長　森沢真理様
先々週のメークアップ	3/10 三条北ＲＣへ　船久保孝志君　広岡豊樹君　池田　稔君　草野恒輔君　野中　悟君　坂本洋司君　谷　晴夫君 3/12 三条東ＲＣへ　船久保孝志君　長谷川直哉君　草野恒輔君　西潟精一君　坂井範夫君　坂本洋司君 3/12 新会員研修（長岡）へ　丸山　智君　大林培男君　田口信行君　渡辺和宏君　吉沢栄一君

四つのテスト

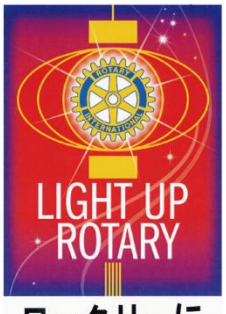
―言行はこれに照らしてから―

Ⅰ真実かどうか

Ⅱみんなに公平か

Ⅲ好意と友情を深めるか

Ⅳみんなのためになるか　どうか



ロータリーに輝きを

国際ロータリー会長	ゲイリーC. K. ホアン［台　湾］
第2560地区ガバナー	佐々木昌敏［小千谷］
第4分区ガバナー補佐	菊池　渉［三　条］
会長	佐々木常行
幹事	松﨑孝史
ＳＡＡ	馬場眞樹

事務局　〒955-8666三条市旭町2-5-10
三条信用金庫　本店内
TEL 0256-35-3477　FAX 0256-32-7095
E-mail　info@sanjo-minami.jp
URL　http://www.sanjo-minami.jp

幹事報告

松　崎　孝　史　幹事

佐々木ガバナー事務所より「山の会　南魚沼市『坂戸山』登山」のご案内

日　時　　2015年 4月25日（土）～26日（日）
25日（土）　17：00集合　　18：00～懇親会
26日（日）　8：30ホテル出発 ～ 坂戸山 ～ 15：00ホテル着予定
宿泊・集合場所　　ホテル坂戸城　南魚沼市坂戸292－4
会　費　　13,000円（一泊夕食・朝食、懇親会費、26日昼食弁当）

新潟西RCより「創立40周年記念式典」のご案内

日　時　　2015年　5月30日（土）　10：30～14：10
会　場　　ホテルオークラ新潟

ニコニコボックス NIKO-NIKO BOX

～ 3月16日　11,000円
今年度累計　545,000円 ～

佐々木君　新潟日報社　論説編集委員室　次長　森沢真理様、本日の卓話 宜しくお願いいたします。

松　崎　君　森沢様、本日はお忙しい中ありがとうございます。

吉　井　君　今日の天気は春そのものですね…！
3/11に亡くなりました前三条RC会員の吉井俊介の 通夜、告別式に当クラブからも 多くの会員諸兄に参列いただき、ありがとうございました。

野　島　君　森沢真理さん、本日の卓話をお引き受けいただきありがとうございました。よろしくお願いいたします。

馬場（信）君　本日の卓話の森沢真理さんのお話、期待しています。久し振りにお会い出来て喜んでおります。
今後ともよろしくお願いします。

佐藤(秀)君、滝口君、田代君、銅冶君、野崎君　BOXに協力いたします。

野　水　君　BOXにご協力ありがとうございました。

Speech 卓話

「坂口安吾の兄、坂口献吉の日記で読み解く『新潟の戦争』」

新潟日報社　論説編集委員室
次長　森沢　真理 様

昨年、『地方紙と戦争』という本を新潟日報事業社から出版しました。新潟日報文化面の連載を加筆したもので、サブタイトルは「新潟日報第二代社長『坂口献吉日記』に見る」。
坂口献吉は『堕落論』などで知られる新潟市出身の無頼派作家、坂口安吾の長兄です。戦後の新潟を代表する文化人のイメージが強いのですが、新潟日報の社長として1945年の敗戦を迎えた経営者でもありました。

『地方紙一』は、その献吉が29（昭和4）年から52年までつづっていた未公開日記を基にしています。地方紙がどのように戦争と向き合ったのか。「新潟の戦争」とは、どのようなものだったのか。それを経営者の立場から、リアルタイムで記録している点に特徴があり、研究者によるとメディア史としても貴重な記録だそうです。

新潟日報が戦時下の新聞統合「1県1紙」策で生まれたのは42年。それ以前の本県は、小さな地方紙が乱立していました。戦前の2大政党制、政友会と民政党の系列に各紙が分かれ、政党と連動して政争を繰り広げている構図です。

献吉や安吾の父、坂口仁一郎は新潟日報の前身の一つ、新潟新聞社（新潟市）の社長であり政治家でした。安吾は、地方紙が「家業」だったのですね。献吉の日記にも、ライバル紙だった新潟毎日新聞社との争いについ

ての記述がしばしば出てきます。新潟毎日は政敵の仁一郎を追い落とすため、安吾の異母姉、シウのしょうとめ毒殺未遂事件をスキャンダラスに報じています。これが少年だった安吾の不登校につながったとの指摘もあります。

安吾の自伝的長編小説『吹雪物語』には、その舞台として戦前の新潟市が登場します。主人公がUターンして編集長となる「越後新報」は新潟新聞社がモデル。旧満州航路があった新潟港の様子なども生き生きと描かれています。

さて、「新潟の戦争」という視点で見た場合、非常に重要な年があります。1931 年９月。満州事変が起き、上越線が全通するのです。朝鮮北部との航路があった新潟港は日本海側における「満州への玄関口」という位置づけになりました。そして、上越線の全通により、東京と新潟は直結されます。新潟港を経由して東京―新京（現在の長春）の「日満両首都」を最短時間で結ぶルートが誕生したわけです。

さらには鉄路を使って、全国紙が新潟へ本格的に攻め入ってくるようになりました。戦争になるとニュースの力が重視されます。読者から戦地の情報を少しで早く多く、早く伝えることを求められるわけです。し烈な報道合戦が全国紙と地方紙との間で始まり、弱小紙は淘汰されていきます。五・一五事件などのテロにより軍部の力が台頭し、政党の力が弱まる中、政論新聞として生きてきた地方紙は路線の転換を迫られるようになっていきます。

かつて北前船で栄えた新潟港は明治以降、没落の道をたどっており、「裏日本」からの脱却は人々の悲願でした。献吉日記を見ますと、五・一五事件では「軍部のファッショ」を強く批判しています。けれど、その一方で満州確保のための戦争、経済のための戦争はやむなし、と考えるようになるのです。「昔と違って世界経済の時代…世界は一つの有機体になってゐる」（1931 年 10 月 12 日の日記）。地域振興への願いが戦争の支持につながる。これは興味深いことだと思います。

新潟航路は、物資や移民を満州へ運ぶ動脈として注目されるようになります。太平洋戦争が始まり、太平洋側の港が攻撃を受けるようになると、新潟の重要性はますます増していきます。後に、Ｂ級ではあるのですが、新潟が新型爆弾（原爆）の投下候補の１つとされたのも、そうした地政学的なものと連動しています。

45 年 8 月 15 日、ポツダム宣言受諾を告げる玉音放送が流れた時、新潟市中心部はがら空きでした。広島、長崎の次に新型爆弾が落とされる恐れがあるということで、畠田昌福知事が布告を出し、市民が疎開したからです。「原爆疎開」といわれる歴史のひとこまです。戦争遂行が最優先であった時代に、知事が人命優先の決断をしたことはもっと知られていいのではないでしょうか。

歴史とは現在の連続であり、現代は過去と地続きです。今年は第二次世界大戦の終戦から 70 年という節目の年に当たります。足元を見直し、過去に学ぶことが大切なのではないか。抽象的に戦争をとらえるのではなく、新潟の地で先人たちが何を考え、どう決断していったか、その結果何が起きたかを見つめ直すことが必要なのだと考えています。

講師紹介

森沢　真理　（ もりさわ ・ まり ）

1960 年、新潟県南魚沼市生まれ。早稲田大学卒。82 年、新潟日報社入社。中央大学大学院修士課程修了。文化部長などを経て 2013 年から論説編集委員室次長。
共著に『流出の系譜　にいがた戦後 50 年』『幕下りるとき』など。
著書に『新潟日報第二代社長　坂口献吉日記に見る地方紙と戦争』

今週の俳句

颯　子（熊倉高志君）　2006 年新春作品　兼題「 葱 」

宅　秀（佐藤秀夫君）　2008 年新春作品　兼題「冬の雨」

4 avril 2015 April

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			1◆三条RC 卓話 三条警察生活安全課 課長 細川　尚樹 様	2◆東RC 卓話 ゴッドハンド（株） 高橋　大介 様	3 ◇市内７クラブ 会長・エレクト・幹事会 18:30～ 於：松木屋	4
5	6◆南RC 「新会員卓話」 大林　培男 会員	7◆北RC クラブ休会 ※記帳ができます	8◆三条RC 卓話 燕三条エフエム（株） 総務部本部長 馬場　博文 様	9 東RC 卓話 田村　松英 会員	10 8日（水） ◇三条南 新理事役員会 18:30～於：松木屋	11
12	13◆南RC 卓話 新潟県介護支援専門員協会 会長 高橋　是司 様	14◆北RC 「一泊移動例会」 （沼田 RC 訪問） ※記帳ができます	15◆三条RC 「新竹城中ＲＣ歓迎及び 春の旬例会」 於：嵐渓荘 ※記帳ができます	16◆東RC 「観桜会」 於：UOZEN ※記帳ができます	17	18
19	20◆南RC 「春の旬例会」 於：嵐渓荘 ①17:00 市役所前出発 ②18:00　〃　出発	21◆北RC 卓話 オフィス・エヌ 南雲　陽子 様	22◆三条RC 外部卓話予定	23◆東RC 「雑誌月間」 飯山　武志 会報・雑誌委員長	24	25
26	27◆南RC 「雑誌月間」 三条市立図書館 館長 高須　陽介 様	28◆北RC 卓話 三条宗徧流 支部長 長谷川　宗直 様	29 昭和の日 ◆三条RC 休　会	30◆東RC クラブ休会 ※記帳ができます		

*近隣RC例会変更のお知らせ

			記帳場所
●燕RC	４月　２日（木）	燕LCとの合同例会	ワシントンホテル
	16日（木）	4RC 合同観桜会	〃
●加茂RC	４月16日（木）	花見例会	加茂市産業会館 ２F
●吉田RC	４月17日（金）	⇒16日合同観桜会	齋藤税務会計事務所 2F